

交通サービス振興特別委員会記録

日時 令和5年10月30日(月) 午前10時
場所 日田商工会館 大会議室
出席者 会 頭 十時 康裕
担当副会頭 河津 龍治
委 員 長 小ヶ内聡行
副委員長 本田 哲
委 員 阿部 修、菅 政哉、合谷 文彦、佐竹 享、角 弘起
富安 裕子、加納 信男、高田 英樹、田邊 康宏
オブザーバー 黒木 陽介
専務理事 樋口 恒成
事務局 伊藤 宏、桜木 幸恵、別府 詩帆
議 題 令和5年度委員会事業について
① 「日田市地域公共交通計画」(ひたはしり号のダイヤ改正等) についての意見交換会
② 案内板の設置について

議事内容

定刻となり開会。小ヶ内委員長、河津副会頭より挨拶がある。

令和5年度委員会事業について

① 「日田市地域公共交通計画」(ひたはしり号のダイヤ改正等) についての意見交換会

日田市企画振興部まちづくり推進課より、資料説明

*日田市公共交通計画(抜粋)

令和5年から令和9年までの5年間での取り組み

基本理念「私たちの暮らしを守る持続可能な地域公共交通づくり」のもと①持続可能な公共交通ネットワークの維持確保②まちづくりの視点からみた公共交通にかかる周辺施策との連携③地域全体で公共交通を創り上げ・守り・育てる。3つの基本方針で推進していく。

*ひたはしり号のダイヤ改正等

3月のダイヤ改正後、病院を巡るルートなどが新しく追加されたことで利用者が増加した。今後バス停の屋根やベンチなど、市内の事業者の方にご協力をいただきながら充実させていきたい。

*BRTひこぼしライン

開業より、九州初ということもあり注目いただいている。本数、バス停などが増えたことにより代行バスよりも利便性が増し、利用者が増えている。利用の6割は観光利用とみられる。

(意見交換)

- ・ひたはしり号は観光客の利用も多いようだが、ルートが分かりづらい
- ・豆田方面や隈方面など、どちらに行くバスなのかわかりづらい
→時刻表、ルートについては今後作成していく予定、インバウンド向けにも対策していく。
- ・運行業者としても、利用者に表示・案内をしていかなければならない。バス、JR、レンタサイクル等が相互にリンクできるようにしていくべき。
- ・インバウンドはすべてネット。時刻表はオンラインでも見れるようにしてほしい。
ひたはしり号は観光客向けではないのかもしれないが、進撃の巨人を見に来る人向けに数本でも大山方面にバスを出してほしい
→観光に交通は重要。ひたはしり号のダイヤの改正にあたっては計画時に中心部のみを回ってほしいという希望があった。今後、周辺部への運行も検討していきたい。
- ・業界全体で運転手不足。確保に手間も時間もかかる。資格が必要なので、その部分の負担の補助などがあると良い
- ・業界として市への要望をする必要があるとは思いますが、例えば移住の際に運送業を選べば補助がプラスされると良いのではないかと。また、運転の体験会などがあるとハードルが下がるのではないかとと思う。
- ・ひこぼしライン開業により、高校生が親の送迎不要になったり、部活がしやすくなったとの声がある。また、飲み会帰りの足として利用される方もいる。

② 案内板の設置について

事務局より資料説明。

オブザーバー観光協会事務局長 黒木さんより現状、インバウンドがよく利用する動線としては福岡博多方面よりバスで日田に来る方が豆田入口のバス停で降車することが多いが、豆田入口のバス停で降りても豆田へ行く方向がわからない。また、どのように観光するかもわからないので看板にQRコードがあれば効果的。

協会としては公園の看板が古くなっているため、それに関して観光課へ予算の提言をしているところである。

- ・ステッカーにするQRコードは翻訳アプリがあるので韓国語や英語はいらぬのではないか
- ・日本語、英語があれば十分
- ・QRコードの囲み文字が日本語と英語の表記になっていればシンプルでわかりやすい。
- ・バスターミナルについては春先に見直しを行い、英語表記など行った。HPについてはどこまでの対応をすべきか課題
- ・バスについてもJRのような路線図があればわかりやすくなるのではないか。

(まとめ)

案内板については、シンプルなQRコードのみのステッカーの作成を行い、看板への貼付と市内事業所に対して配布を行う方向で、枚数など詳細については委員長と副委員長に一任いただいた。

以上により 会議を終了した。